

明神川に沿う社家町：  
上賀茂神社から流れる明神川に沿って社前に家を構える



撮影：2014年11月（京都府・京都市北区上賀茂）

◆昔の面影を今もとどめる

錦部家の旧宅は1181年（養和元年）に作庭され、現在の社家の中では最も古い庭ですが、庭内へは明神川の水を取り入れ、“曲水の宴”の小川となり、再び明神川に返されます。社家の町並みは重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。

苔むした土塀や門、土塀越しにのぞかせる庭の樹木等は、かけがえのない貴重な歴史的遺産です。みち沿いの明神川は流速も早く手摺があっても不思議ではありません。それがなくて済むのは上賀茂神社の歴史の重みによるのでしょうか。

岡村幸二（JRRN会員）